

プレス公表（運転保守状況）

発生日	2022年2月15日		
号機	—	件名	保安規定対象記録の未保存について（区分:Ⅲ）

【事象の発生】

2022年2月10日、社内管理文書の確認を行っていたところ、2017年度分の力量評価記録※が、一部のグループにおいて保存されていないことが判明いたしました。力量評価記録は保安規定で保存期間が5年と定められており、2月14日、当該記録の未保存は保安規定の要求を満たしていないことを確認いたしました。

なお、2017年度の力量評価記録を踏まえて作成される2018年度の教育訓練計画は作成・保存されていることから、2017年度の力量評価記録は作成済みであったものと推定しております。

※原子炉施設保安規定第120条に基づく、力量、教育・訓練及び他の措置について該当する記録。

主にメンバーの担当業務とその業務に関わる力量区分、業務教育（研修）項目の計画と実績が記載されている。

【対応状況】

2014年度に発生した同様の不適合との関係も含めて、詳細調査を行い、その結果を踏まえて再発防止の徹底を図ってまいります。

（2022年2月15日にお知らせ済み）

【調査結果】

過去6年分の力量評価記録の保存状況について調査を行った結果、転入または転出時における力量評価記録の作成不備や、力量評価記録作成後における保存の不備など、75件（2月に確認された51件含む）が保安規定第120条の要求を満たしていないことを確認いたしました。なお、記録の不備があった者は、マニュアルで必要な力量を規定している検査業務や設計管理業務に従事していないことを確認いたしました。

【原因】

調査結果を踏まえ、発電所の各組織に聞き取り調査した結果、人事異動等、記録の作成が必要になった際に作成を失念したこと、マニュアルの確認や記載が不十分であったこと、保安規定対象記録を職場にて管理・保管していた際、管理者の関与・確認不足により、職場にて誤って紛失してしまったことが原因と推定しました。

【対策】

本事案を受けて、マニュアルの記載について充実化を図るとともに、職場での保管は行わず、保存庫で一括管理することとし、発電所の所員に対して、マニュアルの内容やルールなどの注意事項をあらためて周知いたします。

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年7月20日

号機

4

件名

原子炉建屋付属棟（非管理区域）におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年7月19日午前10時01分頃、4号機原子炉建屋付属棟地下1階非常用ディーゼル発電機室（非管理区域）にて点検作業に従事していた協力企業作業員1名が、足を滑らせ、右脇腹と右腕を現場の機器に打ち付けたことから業務車にて病院へ搬送いたしました。なお、本人は自力歩行が可能で、身体汚染はありませんでした。

【対応状況】

病院での診察の結果、「右肋骨骨折」（約1か月の加療を要する見込み、入院なし）と診断されました。今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。

② (2022年7月20日までにお知らせ済み)

【その後の状況】

後日、病院にて再度診察を受けた結果、「右肋骨骨折」ではなく、「打撲」と診断結果が変更されました。

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年7月27日

号機

発電所構内
(屋外)

件名

大湊側屋外エリア（非管理区域）におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年7月26日午後3時5分頃、屋外で鋼材を整理していた協力企業作業員が、鋼材の位置を修正した際に、鋼材と鋼材を置くために設置していた角材に左手薬指を挟み負傷したことから、午後3時50分に業務車にて病院へ搬送いたしました。
なお、本人は自力歩行が可能で、身体汚染はありませんでした。

【対応状況】

病院での診察の結果、「左手環指挫滅創、左手環指末節骨骨折」（通院加療、全治6週間）と診断されました。
今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。

③ (2022年7月27日までにお知らせ済み)

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	6	件名	非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて（区分：Ⅲ）	発生日	2022年3月18日
----	---	----	--------------------------------	-----	------------